

こくろう秋田

国鉄労働組合
秋田地方本部
(秋田市中通
7-2-21)
018-832-3775

発行責任者
瀬下 一司
編集責任者
佐藤 浩一

09 春闘勝利!

学習決起集会を開催

3月14日、13時から国労会館を会場に「09春闘勝利・学習決起集会」が開催されました。参加者は、組合員をはじめ、鉄道退職者の会3名、家族会3名を含む40名でした。

学習会は秋田支部・武藤書記長を座長に二部構成で開催され、地本・瀬下委員長のあいさつの後、さっそく第一部春闘学習会が開催されました。講師は秋田県学習協の鈴木諄会長で、「09春闘を世直し運動のスタート台に、変えよう!大企業中心の社会」と題し、約40分の講演をいただきました。

鈴木会長は、日本経済の異常な落ち込みと、その原因がいつつな経済構造にあること、今こそ230兆円に及ぶ大企業の内部留保金の活用を、ヨーロッパにおける政府の

解雇規制の実態、財界がいっ「ワークシェアリング」の欺瞞性などについて詳細なレジュメを使いながら講演されました。

第二部は「アスベスト学習会」として、国労東北工務所分会の菊田優書記長を講師に「アスベスト労災認定の闘い」について報告を受けました。この闘いは、2005年6月に46歳という若さで亡くなった組合員の死亡原因がアスベストによるものとして、2008年1月に労災認定を勝ち取った闘いです。

手探り状態から取り組みを始め、遺族や神奈川労災センターなどと協力・連携をとりながら、労基署や鉄道運輸機構、JRとの折衝、証拠集めの苦労などが語られました。今後の闘いに大いに参考になる内容でした。

続いて、「鉄道退職者の会」鎌田事務局長と地本・渡邊書記長からアスベストにかかわる現状と取り組みについて報告が行われました。

最後に瀬下委員長の「団結ガンバロウ」で閉会となりました。

第三部は「国労加入歓迎会」を兼ねた「懇親会」を開催しました。2月に国労に加入した加々谷亨治さんからは、国労加入に至った熱い思いが語られました。

また、鉄道退職者の会・中川副会長、家族会・渡邊会長からも挨拶をいただき、各支部委員長の決意表明なども行われ、大いに交流を深め、組織の強化・拡大など諸課題の前進に向けた意思統一を図りました。



組合差別

三度断罪

3月25日、東京高裁は鉄建公団訴訟に対し判決を出しました。一審の東京地裁判決に続き、高裁として初めて不当労働行為を明確に認め、地位確認の請求などは退けたものの、所属組合によってJRへの採用率に顕著な差があり、所属組合による不利益な取り扱いがあったと指摘。また損害賠償請求権は無効との機構側の主張を退け、一部の原告を除き、一審より一人当たり50万円増額した550万円の賠償を命じました。

南裁判長は判決言い渡し後、「判決を機に早期解決を望みます」と特にコメントしました。

今後の日程

- 4月4日 地本全分会長・支部委員長合同会議 13時から15時 国労会館 (昼食は準備します)
- 4月29日 秋田県中央メーデー (連合秋田主催)
- 5月1日 秋田県中央メーデー (秋田県労連主催)
- 5月14~15日 第12回東日本軟式野球大会 (大井埠頭中央海浜公園野球場)